

HOME

モバキャストについて

事業スキームと設備構成



モバキャストについて

→ モバキャストとは

→ 主な特徴

→ 対応デバイス

→ 事業スキームと設備構成



モバキャスト送信所の展開



技術情報



会社情報



放送事業を検討の方へ

事業スキームと設備構成

モバキャストでは、さまざまな放送事業者が参入できるように、ハード事業者とソフト事業者を分離させた制度が採用されました。数多くの企業等が参加することでモバキャスト全体の活性化が見込まれます。

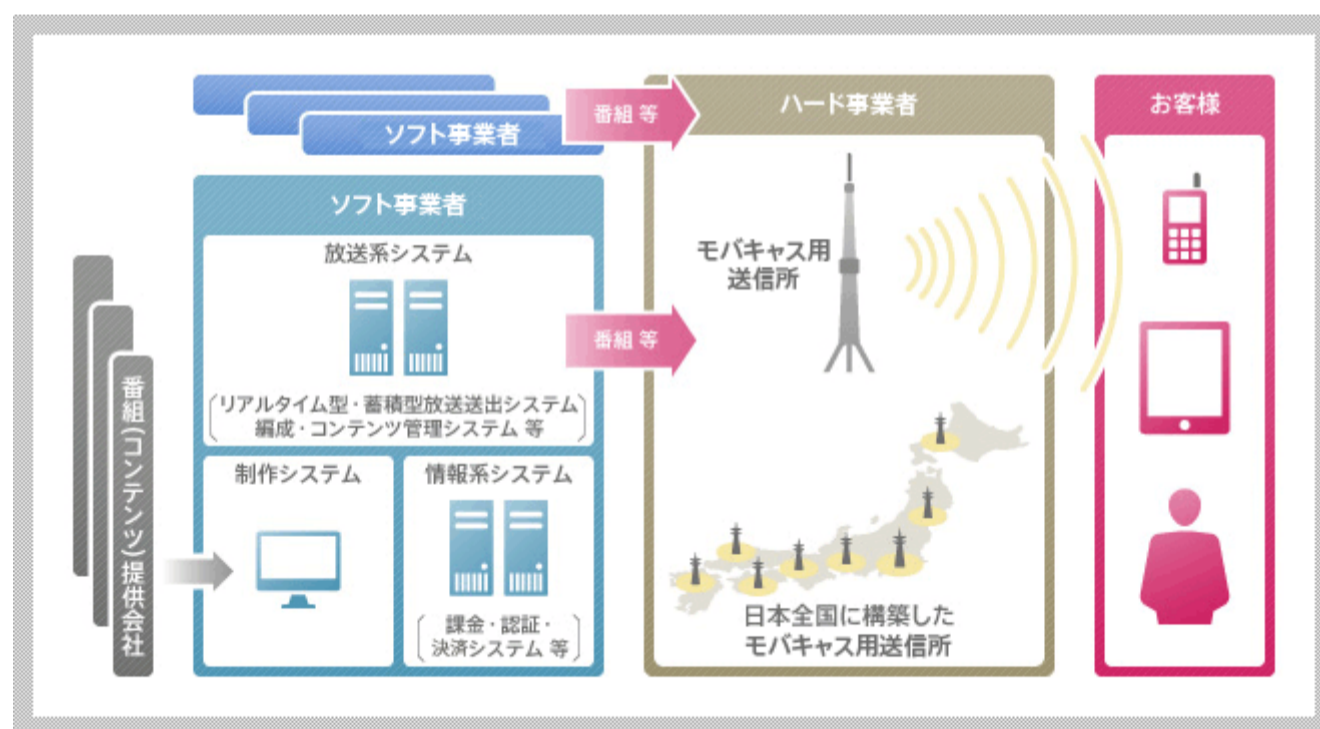
ハード事業者とソフト事業者を分離させた制度



ハード事業者とソフト事業者の役割

ハード事業者であるジャパン・モバイルキャストはモバキャスト用に割り当てられた周波数（周波数帯：207.5MHz～222MHz、帯域幅：14.5MHz（33セグメント分））を使い、ソフト事業者から受け取った番組やコンテンツを日本全国に構築したモバキャスト送信所から放送します。

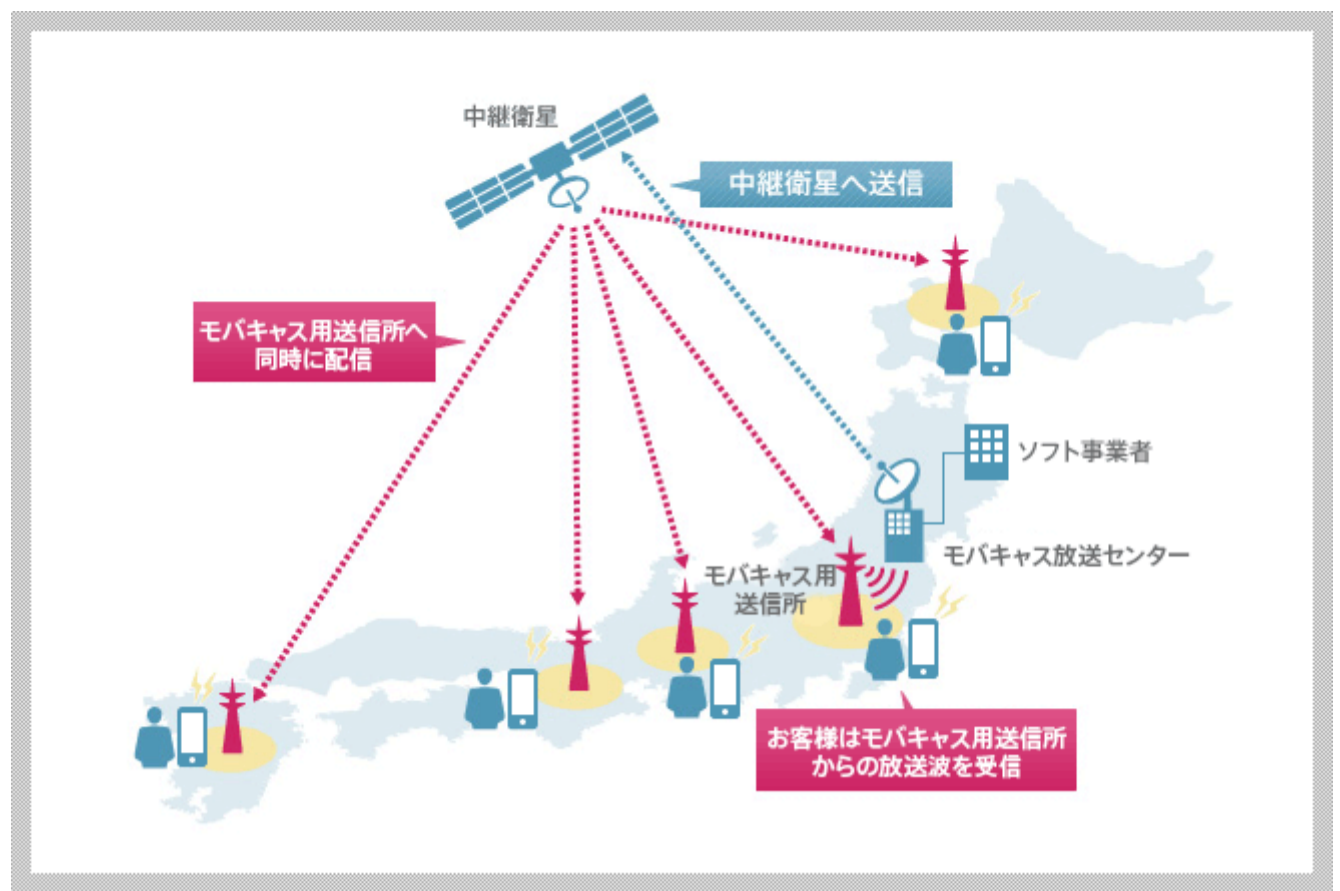
ソフト事業者は、番組やコンテンツの制作・編成を行い、様々な情報をモバキャストの利用者（視聴者やリスナー等）に提供します。なお、ソフト事業者は送信所設備を持っていない為、ハード事業者へ番組やコンテンツの放送を委託します。また、認証・課金・決済を行う機能により、有料放送を行うことも可能です。



全国への配信ネットワーク

ソフト事業者から放送を委託された番組やコンテンツを、一旦モバキャスト用放送センターにまとめ、全国に配信します。

中継回線として衛星を利用することで、全国のモバキャスト用送信所に時間差を最小限に抑えつつ一斉に配信することが出来ます。



▲ PAGE TOP

[⇒ プライバシーポリシー](#) [⇒ ソーシャルメディアポリシー](#) [⇒ サイトのご利用にあたって](#) [⇒ NTTドコモグループ倫理方針](#)

© Japan Mobilecasting, Inc. All Rights Reserved.